

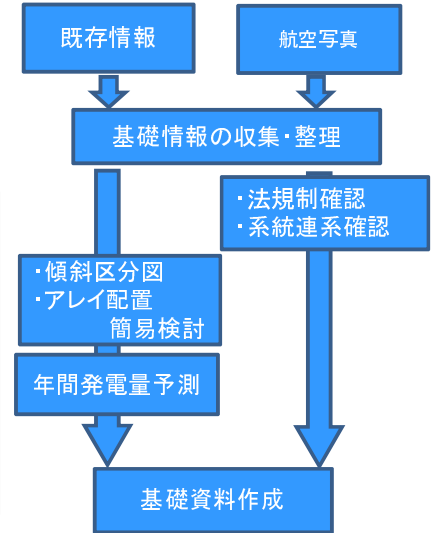
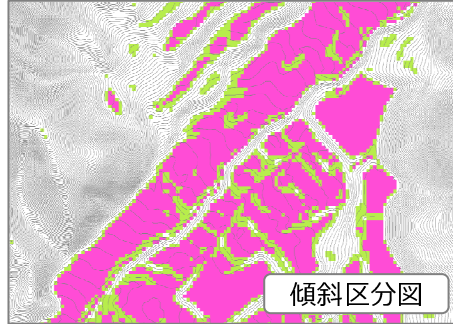
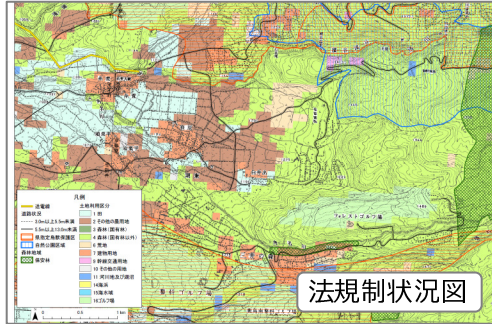
# 太陽光

## 太陽光発電（メガソーラ）導入検討を支援します！

### 簡易検討支援

#### 既存資料による簡易検討により導入を支援します

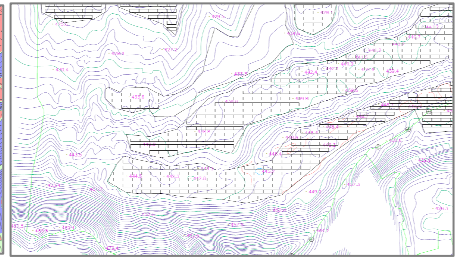
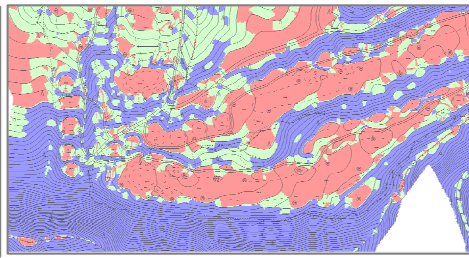
太陽光発電（メガソーラ）導入を検討する際には、対象地域の地形、法規制、気象状況等の諸条件について情報整理が必要です。弊社では、導入検討に当たりそれらの基礎的情報について、弊社保有情報や地形図(1/25,000)および航空写真等の収集・整理、または空間情報解析を行い、導入検討を支援するための基礎資料を迅速にご提供致します。



### 詳細検討支援

#### 日影を考慮した詳細検討により導入を支援します

簡易検討の結果、太陽光発電導入可能性が見出せた場合は、事業性検討のためのより詳細なパネルのレイアウト計画が必要になります。弊社では、航空写真等から独自ソフトの「図化名人」で作成した地形図(1/1,000)をベースに、地形条件、周辺環境条件、パネル角度等を考慮した日影シミュレーションを実施し、最適なパネルのレイアウト計画を行います。また、パネルの概略設計結果は、三次元の表示等とともに年間発電量を試算し、現実的な導入検討を支援致します。



地形図データ（1m等高線）



傾斜区分図



パネル配置図

### 法規制のスクリーニング

#### 関係機関との協議による必要な許認可事項を整理します

関係機関への情報収集および事前協議により必要な法規制（森林法、農地法、景観法、都市計画法、各種条例等）の情報を収集・把握し、太陽光発電事業実施で必要となる許認可事項のスクリーニングを行い、必要許認可の選定を行います。

### 簡易環境アセスメント

#### 簡易的な環境調査を実施し環境配慮事項を整理します

太陽光発電事業では、法や条例に基づく環境アセスメント実施は基本的には不要です。しかし、土地改変を伴う大規模事業や事業実施区域周辺に貴重種等の生息・生育情報が得られた場合には、環境アセスが必要な場合もあります。弊社では、現地調査実施から影響予測、環境保全措置の立案までを全面的にサポートを致します。



# 太陽光

## 民間事業参入に向けた流れ

アジア航測が事業化に向けてサポートできること

太陽光発電を導入するためには、おおむね下記の手順が必要になります



### 主な実績

- ・平成21年 再生可能エネルギー利用状況等調査(川崎市環境局)
- ・平成21年 再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査（環境省地球環境局）
- ・平成22年 再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査（環境省地球環境局）
- ・平成22年 太陽エネルギー利用可能量調査（京都市環境政策局）
- ・平成23～24年 再生可能エネルギーに関するソーニング基礎情報整備等委託業務（環境省地球環境局）
- ・平成25年 メガソーラ簡易検討資料作成（民間事業者）
- ・平成25年 メガソーラ詳細検討資料作成（民間事業者）

お問い合わせ先